

教訓コップをつくろう (サイホンの原理)

ものづくりのねらい

沖縄のみやげ物に教訓茶碗というものがあります。底に穴の開いた茶碗ですが、水を入れても一滴も漏れません。しかし、ある量まで水を入れると底の穴から水が全部出てしまいます。「欲張りものは損をする」、あるいは「腹八分目」ということなのでしょう。これは水圧の差によって起こるサイホンという現象を利用したおもちゃです。これをプラスチックコップを使って作ってみましょう。



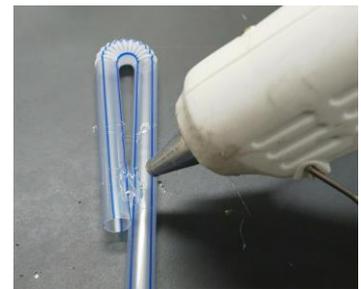
◆準備物

【材料】 薄目のプラスチックコップ、蛇腹つきのストロー

【道具】 目打ち、ホットボンド、はさみ、カッター

◆作り方

- ① ストローの蛇腹を中心にUターンさせ、ホットボンドで接着する。
- ② プラスチックコップの底面に、目打ちでコップの内側からストローが通るぐらいの穴をあける。
(少し大きめでも大丈夫)
- ③ 長い方のストローの端をコップの穴に差し込む。
(きついときはラジオペンチで引っ張るとよい。)
- ④ ストローの短い方の先が、コップの底から2mm程の長さまで差し込む。
- ⑤ ホットボンドでストローをコップに接着する。
- ⑥ 出ているストローをカッターで、コップの底近くで切る。



- さっそく水を入れてみましょう。水を受けるコップを忘れずに。